

音楽と音の本収録

音楽と音の本【2014No.11】(HP 収録)

分類：単行本

著者・编者：村井裕弥著

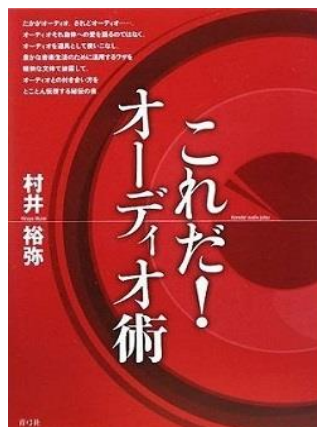
書名：これだ！オーディオ術 2

副題：格闘扁

発行所：青弓社

発行年度：2014年8月

備考：



概要：

2008年12月に発刊された「これだ！オーディオ術」の続編という位置づけになるものです。「これだ！オーディオ術」の表紙には、「たかがオーディオ、されどオーディオ…。オーディオそれ自体への愛を語るのではなく、オーディオを道具として使いこなし、豊かな音楽生活のために活用するワザを軽快な文体で披露して、オーディオとの付き合い方をとことん伝授する秘伝の書。」という紹介の言葉があり、まさにこの言葉どおりの内容でオーディオを親しみ深いものにしてくれるものでした。

今回の格闘扁では表紙にある、「アナログ再生」と「ファイル再生」との格闘と葛藤を赤裸々に記し、オーディオアクセサリーの魅力を十分に語り、さらにはオーディオの選び方のポイントやオーディオと部屋の関係を経横に論じて、オーディオを使いこなし、音楽生活を豊かにするコツを惜しみなく提示する。」という紹介の言葉どおり、事例研究と言うかたちをとって実践的なオーディオへのアプローチが平易に語られています。

目次には次のように各章の内容ごとに分かりやすい小見出しが付けられています。

第1章 いま考えていること、ぜひ伝えたいこと

前著『これだ！オーディオ術』で伝えたかったこと●とことんビギナーの面倒をみるとし

たら●一見親切に見えるアドバイスが、上級者に育つ芽を摘み取る●試聴って、ホント難しい●大規模オーディオ・イベントや試聴会の難しさ●自宅試聴なら、どうよ●アナログ再生と PC オーディオについて●いわゆるハイレゾについて●何のためにオーディオに取り組むのか●人を驚かせるためのオーディオはやらない●ご要望のあて先●吉松隆氏のエッセイから学べること

第2章 わが家で生き残ったオーディオ機器

第3章 アナログ再生との格闘 (2008年春—09年暮れ)

格安プレーヤーVestax BDT-2600の魅力●アナログ vs CD 真剣勝負!!●田んぼのなかのレコード屋、「ニイノニーノ」が高級住宅地に移転●北九州市を代表するオーディオ愛好家のお宅を訪ねる●オリジナル盤の嵐と博多風鶏の水だき●オリジナル盤の直後にかけても聴き劣りしないテレサ・テン●アナログオーディオの楽しみは●「ニイノニーノ」での感動が大きすぎて.....●3万2,000円プレーヤーにカツを入れる!●『マエストロ・クラシック』の魅力は●ムーティ指揮ウィーン・フィル3年ぶりの来日●この音を、何とか自宅のスピーカーから出したい●「生音の雰囲気をつたえた音」を再生するのが得意なアナログ●『30Years Tubes—真空管録音30年』を開封する●「Stereo」2008年10月号の記事がやけに気になる●14年前自分が絶賛したアナログ・プレーヤーは●13年前、自分が絶賛したカートリッジは●プレゼンスオーディオのカートリッジは飲酒音楽鑑賞不可!●各誌絶賛のハイエンドMCカートリッジがあるじゃないか●これって、理想のMCカートリッジかも●ウチのやつが、とうとうキレた!!●じゃ、1個作ってください●逸品館1号館に、たまたまあったSolid Wood MPX●あの田中伊佐資氏とMPX仲間になった!●まずは水道ノイズ(?)を何とか止めなきゃ●ついに、アコースティック・ソリッドを箱から出す!!●各種微調整に、意外と手間取る●高級なプレーヤーほど、使いこなしが大変!!●アクリルマットって、何のために付いてるんだ!●吉田苑のウェブサイトで掘り出し物を発見!!●江川工房スペシャル in 広島●江川氏の夢が、ついに実現?●評論家モードにスイッチON!●何かいやな音がするねえ●エヴァヌイ・シグネチャーIIの音が●広島駅で、ラスト・サプライズ●この音はどこかで聴いたことがある●その半年後、「Analog」誌に載ったインタビュー

第4章 ファイル再生との格闘 (2008年秋—14年初頭)

あなたはPCオーディオ派か、アナログ派か。はたまた両刀遣いか●ノートパソコンを使って、初めて音楽を聴いた日●パソコンをCDトランスポートとして使うためのアダプター?●専用半導体メモリーさえあればCDトランスポートはいらない?●インフラノイズの音楽再生専用メモリーUSB-5●USB-101をより効果的に使うための半導体メモリー●HDD、1,100円メモリーとUSB-5を徹底比較試聴●半導体メモリーに手を加えようと明らかに音が変わる●突如、ネットワーク・オーディオの世界へ●まずは必要なものを買って揃える●買ったのはいいけど、自分だけでセッティングできるの?●マニュアルを発見したもの●無料翻訳サイトをフル活用●サイトごと翻訳するとダウンロードも容易

に●NASの設定はほぼ全自動●何はともあれ、8時間で音が出た!●何だ!? こんなところに日本語マニュアルが●たった3カ月間でここまで進化●DSDはDSDのままD/A変換せよ! 10年前から明らかだった真実●フォーマットの墮落にストップをかけたハイレゾ●2年前、ようやくDSDの配信が始まったものの●DSDの魅力を知る人たちが世界中で知恵を絞る●DSDネイティブ再生の魅力を音楽誌の読者にも●CDのデータはいったんリッピングしてから再生する●D/AコンバーターをGPSクロックで制御●DSDネイティブ再生は世界を救う●高級プリアンプのクオリティーにDACプリ2台で挑戦●気がつくと、内なる声に従っていた●ASIO2.1方式で、DSD5.6MHzのファイルも再生可能に

第5章 管球式アンプの世界へようこそ

長く付き合いたい! 管球式アンプの魅力と底力●マックトン十番勝負

第6章 確認音源とは何か

道案内は必要だけど●ASCに入会すると●塩が多すぎるから、砂糖を入れよう?

第7章 音楽ソフト制作者との対話

REQST 西野正和氏との対談●“低音”はオーディオ仲間で話題となる永遠のテーマだ●出水電器のオーディオ用電源工事が、ここでも貢献

第8章 オーディオ・アクセサリ

バック工芸社のスピーカースタンド Basic シリーズ●お部屋の S/N 比を改善するインナーサッシ●チェック用 CD をきちんと決めよう●サーロジックの SV パネル●インフラノイズの「リベラメンテ」ピンケーブル●Ge3 のスピーカークーブル「芋蔓 DQ」●制振金属 M2052 を応用したアナログ用アクセサリ●フェーズメーションの管球式フォノイコライザーアンプ●静—Shizuka—のケーブル用ノイズキャンセラー CNC20-200●WAGNUS のデジタルケーブル eRuby Pro●インフラノイズのクロック・レシーバーCCV-5●イチカワテクノロジー 端子クリン●デンテックのデジタルアンプ専用高周波フィルターRWC-1●オーディオ用電源工事●ソーラーパネル●オーディオのすすめ●A&R Lab の定電圧電源 PS-12●シンプル・イズ・ベストの「常識」をくつがえす相島技研パワーエクストラ●アコースティックリヴァイブ RR-777●長谷弘工業の CD プレーヤー用インシュレーター「ティラミス」●インフラノイズのスピーカークーブル「スピーカーリベラメンテ」●REQST のレゾナンス・チップ・コネクト

第9章 それでも、選び方を教えてというあなたのために

エントリークラスをなめるんじゃねえ●SACD/CD プレーヤーの選び方●プリ・メインアンプの選び方●スピーカー・システムの選び方●アクティブ・スピーカーについてこれだけは補足したい!●学生時代に愛用していたスタックスのヘッドフォン

第10章 結局、オーディオの成否は部屋なんじゃなからうか

建て替えをきっかけにリスニングルームを計画●ヨーロッパの建築に近づけるような設計●測定と実際の感覚には想像以上に開きがある●アコースティックエンジニアリン

グでおこなわれたイベント

初出一覧

あとがき

本書を落手後、一気に読んでしまいましたが、まずは、自分も使っている機器やケーブルが出てきたり、オーディオブログで高名な方々の名前が出てきたりで親しみを感じてしまいました。特に、いくつかのインフラノイズの製品や、MYTEK DIGITALのDACなど、自分も使っている機器やケーブルの特徴の解説については首肯するところが多く、一般ユーザーの視点に立った事例の解説ということで、初心者からDSD再生に取り組んでいる上級者にも参考になるところが多いかと思います。

著者も書かれているとおり、オーディオ機器の選択においては外れが多いという事実は、評論と言う本筋から離れて、カタログ雑誌に堕したようなオーディオジャーナリズムも問題ですが、しょせんテイラーメイドでしか良い状態に到達できないというオーディオの本質に目を瞑って、「この場合に良ければ全てにおいて良いだろう。」とする誤った幻想によるものだと思います。そういう意味で、幻想を排し、実践における格闘と葛藤を明らかにしていただいた著者に拍手を送りたいと思います。欲を言えば、もう少し踏み込んで、次世代オーディオの予見や予言、あるべき姿への提言が欲しかったと思います。